

マイ・ツリー植樹式

平成21年3月21日（土）、国道34号大村拡幅事業の開通式が行われました。事業に伴い、国道34号が大村市のシンボルとなるように、官民協働で美しい道路空間づくりが進められています。マイ・ツリー植樹式はその一環として道守長崎会議が主体となって進めてきました。

「マイ・ツリー」とは、街路樹に自分の名前などを記載したプレートをつけ、その木を大切に育て、街路樹の周辺をきれいに清掃し、美しい街並みをつくる取り組みです。

今回の植樹式では、個人・家族・団体・企業など55組がマイ・ツリー活動に参加され、大村市役所前の道路に「アマノガワ」という桜の木を植えました。皆さん色々な想いを込めて植樹し、自分の名前やメッセージを記したプレートを嬉しそうにつけていました。桜の花は、4月の中旬～下旬にかけて咲くようです。国道34号が、大村の新たな桜の名所となりそうです。



↑開通式典では、阿野事務局長が道守長崎会議の活動について発表されました。また、道守会員募集の呼びかけも行いました。



中野代表世話人の挨拶で、マイツリー植樹式がスタート。



子どもたちが真剣に作業しています。



国交省九州地方整備局の岡本局長も植樹に参加されました【奥】。



マイ・ツリー会員のプレート。名前などが記載されます。

~今月の通り名~

各地区で進めていた「通り名」プロジェクトもついにゴールを迎えました！地域の皆さんのご協力の下、大浦・神浦・諫早・小浜・平戸に「通り名」プレートが設置されました。各地区で、今年度最後のワークショップを行い、参加者の皆さんで実際に通りを歩いてみました。通りの名前やプレートのデザインは何度も議論して考えてきたので、街の雰囲気とよく合っていて、皆さんとても喜んでいました。

また、「通り名」プレートとセットで活用できるマップも完成しました。こちらも各地区それぞれの個性が出ていて、地域の知られざる情報満載の素敵なマップになりました。

<小浜地区>



←小浜温泉57の皆さん



一
街
の
方
に
も
喜
ん
で
頂
け

「通り名」プレートの
デザイン



平成21年3月18日（水）、「小浜温泉57」のメンバーの手によって約100枚の「通り名」プレートが取り付けられました。参加者や地域の方から、「街の雰囲気がよくなつた」、「デザインがきれい」など大変好評で、これから小浜温泉街の活性化のために一役買ってくれそうです。

<大浦地区>

歴史的建造物の多い大浦地区では、景観に配慮して17×8センチ（第5号で12×6としていましたが誤りです）のプレートを設置しました。小さいながらも分かりやすい道案内プレートになっています。また、マップについては、「通り名」の由来や通りにまつわる物語が記載され、楽しい街歩きができそうです。



【大浦地区「通り名」マップ】

<神浦地区>

神浦地区では、商店街を中心に15枚の「通り名」プレートが設置されました。自治会や外海ツーリズム協議会などのワークショップメンバーからは、「商店街の雰囲気とよく合っている」とか「いつも通っている道なのに、“通り名”が付いていると風情があっていい」という声が出ていました。



【神浦地区「通り名」マップ】

<諫早地区>

諫早では、24の通りに89枚の「通り名」プレートが設置されました。ワークショップのメンバーも設置に協力してくださったお宅の方も大変喜んでいました。来年度は「通り名」を利用したイベントやまちづくりの方策について検討していきます。



【「通り名」マップ】



【（左）市長に要望書を渡す連合自治会長】



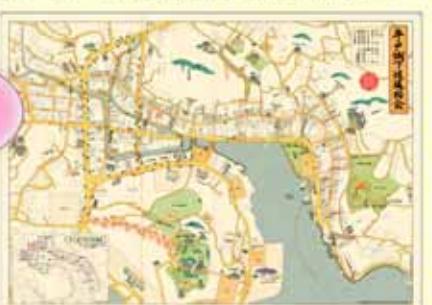
【「通り名」マップ】

3月5日には、諫早市の吉次前市長に、「通り名」プロジェクトの支援を要望しました。「通り名」プレートを設置し、マップも完成したので、今後、諫早市の観光振興や地域活性化に「通り名」を活用し、「通り名」と連携したまちづくりを行って頂けるよう要望しました。

<平戸地区>

城下町平戸でも、「通り名」マップが完成し、プレートが整備されました。3月31日に「通り名」の完成を記念し、地域の方やボランティアガイドの皆さんと一緒に実際にまちを歩いて確認を行いました。

ボランティアガイドの皆さんからは、「“通り名”的おかげでこれまで以上に観光客に分かりやすい案内ができるようになった」と喜びの声をいただきました。



【平戸城下逍遙図会】

【マップを確認する参加者】

【「通り名」設置後の街の風景】

※道守会員の皆様の活動情報を、随時募集しております。情報提供お待ちしております！！！

活動情報は、写真と簡単なコメントを添えて、下記住所までお送り下さい。